

群馬ふるさとづくり賞 受賞団体決定

群馬県地域づくり協議会では、「群馬ふるさとづくり賞」を設け、活力ある地域づくりに取り組んでいる優れた団体等を顕彰しています。

本年度も、県内各地で地域づくり活動を行う3団体から応募があり、「主体性」「地域性」「継続性」「先駆性」等を総合的に審査した結果、「群馬県立利根実業高等学校 生物生産科 食品文化部」が群馬ふるさとづくり賞に、「渋川市たちばな竹の里フェスティバル実行委員会」「NPO 法人渋川広域ものづくり協議会」が群馬ふるさとづくり奨励賞に輝きました。また、受賞団体については、(公財)あしたの日本を創る協会主催の「あしたのまち・くらしづくり活動賞」に推薦いたしました。

本賞は地域づくりへの活動の成果をアピールする良い機会となり、魅力ある地域づくりのさらなる進展を図る契機になることと思っております。来年度もみなさんからのご応募をお待ちしております。



ふるさとづくり賞

群馬県立利根実業高等学校
生物生産科 食品文化部 (沼田市)

「農家の母ちゃん」「地域は家族」を合言葉に、食を通したまちおこしに取り組んでいる。特に、地域の特産品である枝豆を活用して考案した「えだまメンチ」は、学校給食で採用され、地域の飲食店で提供されるなど、小中学生の食育や地域経済の活性化に繋がっている。



喜びの声
代表 荒井拓也様

このような賞をいただけるとは思っていませんでしたので、とても驚いています。

私たちが沼田の新名物『えだまメンチ』を売り始め、今年で3年目になります。私たちの2つ上の先輩が『えだまメンチ』を考案し、1つ上の先輩がお店への普及、そして、3年目のわたしたちが地域、家庭への普及を中心に活動しています。

私たちはB-1グランプリに出ることを目標としていますので、この賞をいただいて終わりではなく、また次のステップへと頑張っていきたいと思っております。ぜひ沼田にお越しの際は、『えだまメンチ』を買っていただけると嬉しいです。



ふるさとづくり奨励賞

渋川市たちばな竹の里
フェスティバル実行委員会 (渋川市)

平成19年から毎年「渋川市たちばな竹の里フェスティバル」を開催し、年々参加者を増やしている。竹筒に手作りろうそくを入れ火を灯す竹と光のページェント、小学生等による竹太鼓の演奏会や竹工芸作品の展示・作成体験会、竹炭・たけのこ料理の無料配布など、地域の資源である竹を活用した数々の取組により、地域文化の創造、発展に貢献している。



喜びの声
代表 爲谷賢司様

このような大変素晴らしい賞をいただきまして、本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

私たちの「竹の里フェスティバル」は、子供からお年寄りまで、たくさんの方に参加いただいております。大変意義があると自負しています。今後は、来場くださった皆さんに大きな感動、子供達に大きな夢を与えられるよう、より一層努力していきたいと思っております。フェスティバルは毎年開催しています。是非とも皆さんにお越しいただき、今後もさらに盛り上げていくためにご指導賜れば幸いです。



ふるさとづくり奨励賞

NPO 法人
渋川広域ものづくり協議会 (渋川市)

「花と緑でまちづくり」をテーマに、西洋紫陽花の植栽、ゴーヤによるグリーンカーテン作り、里山の美化活動等に取り組んでいる。グリーンカーテンから収穫したゴーヤと地域の特産品であるコンニャクを使った「ゴーコン汁」を考案し、地域のPR活動を行うなど、地域振興にも寄与している。



喜びの声
代表 岸邦夫様

この度は、このような素晴らしい賞をいただきましてありがとうございます。

私たちの活動は、花と緑をテーマにしたまちづくりです。国道17号での西洋紫陽花の植栽活動、ゴーヤのグリーンカーテンの普及活動、そのゴーヤと地域特産のコンニャクを使った「ゴーコン汁」による食文化の振興、小野池あじさい公園での観光ガイドの4つの活動を軸としています。これからも、この4つの活動による4輪駆動で頑張っていきたいと思います。